

本社工場における爆発事故について －操業再開のご報告－

2012年10月20日(土)に発生したマツダ株式会社 本社工場 鑄造C棟での爆発事故につきましては、近隣にお住まいの皆様ならびに関係各位に多大なご心配とご迷惑をおかけし、あらためて深くお詫び申し上げます。

弊社では、事故発生直後より消防、警察、労働基準監督署による調査に全面的に協力するとともに、原因の特定と再発防止に向けた取組みを推進してまいりました。去る12月6日(木)に広島市消防局による再発防止策に伴う工事の完成検査が完了したことを受けて、本日12月14日(金)より、安全を最優先に鑄造C棟の操業を再開しましたので、お知らせします。

なお、事故概要と被害状況ならびに再発防止策は以下の通りです。

1. 事故概要

10月20日(土)午前1時49分頃、弊社宇品中地区の鑄造C棟2階 電気炉付近で、溶かした鉄を運搬するための容器(直径約1メートル、高さ約1.5メートル)が転倒し、流出した高温の鉄と設備内の砂に含まれた水分が接したことで水蒸気爆発が発生しました。

弊社では直ちに広島市消防局に通報しましたが、防火自衛団による初期消火が奏功し、広島市消防局による消火活動には至りませんでした。

2. 被害状況

(1) 人的被害

社員3名が軽症の火傷を負いましたが、全員が治癒しました。

(※10月20日時点、経過観察のため入院し中症と公表した1名も、軽症の火傷と診断されました。)

(2) 物的被害

有害物質の発生・流出はありません。

鑄造C棟の建屋および設備の一部に軽微な被害がありました。

(3) 製品供給等への影響

鑄造C棟の鑄鉄製エンジン部品は、一部の海外向け車両と産業用のエンジンに限定され、かつ本日より操業を再開しましたので、国内外各生産拠点での製品供給に与える影響はありません。

3. 再発防止策

「容器を転倒させない」、「万一の際にも高温の鉄と水分を接触させない」を基本に以下の対策を実施しました。今後、二度と同様の事故を発生させないよう、全社一丸となって再発防止に努めてまいります。

- ・ 容器の転倒を防ぐため、溶かした鉄の運搬方法と運搬経路を見直しました。
- ・ 電気炉周辺の乾燥状態の維持、確認に万全を期するため、炉下ピットに換気装置と漏水センサーを設置しました。
- ・ 万一に備えて、運搬経路に防湯堤を設置し、鉄の飛散・流出を最小限にとどめるようにしました。
- ・ 今回の再発防止策に合わせた始業点検手順マニュアルに改訂するとともに、作業従事者の教育を実施しました。

以 上